

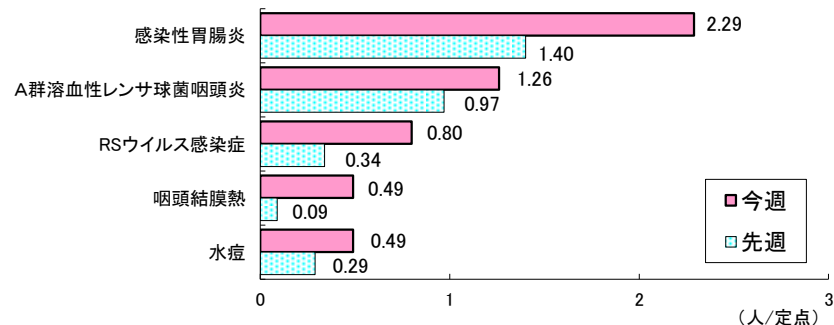


【第45週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で64%増加しています。保健所別では、秋田市、大館、能代、秋田中央、由利本荘で増加、湯沢で同規模、北秋田、大仙、横手で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で30%増加しています。保健所別では、秋田市、由利本荘、横手、湯沢で増加、大仙で同規模、秋田中央で減少しています。
3. RSウイルス感染症は、県全体で2.4倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、秋田中央、横手、湯沢で増加、能代で同規模、由利本荘、大仙で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減			
RSウイルス感染症	0.34	0.80	↗	0.29	1.14	↗	0.25	1.50	↗		1.50	↗	0.33	0.33			0.75	↗	0.25		↘	0.50		↘	1.00	1.33	↗	0.50	0.75	↗
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.09	0.49	↗	0.29	1.57	↗		0.50	↗	0.50		↘								1.00	↗									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.97	1.26	↗	0.57	1.71	↗										5.50	5.25	↘	0.50	0.75	↗	0.50	0.50		0.33	0.67	↗	0.75	1.00	↗
感染性胃腸炎	1.40	2.29	↗	1.86	3.57	↗	0.50	1.00	↗	1.00	0.50	↘	2.33	8.33	↗	1.50	1.75	↗		0.50	↗	2.00	1.75	↘	2.33	1.67	↘	1.00	1.00	
水痘	0.29	0.49	↗	0.43	0.29	↘	0.25	3.00	↗	0.50		↘				0.50	0.25	↘	0.25	0.50	↗				0.33		↘	0.25		↘
手足口病	0.34	0.31	↘	0.43	0.14	↘		1.00	↗	2.00	1.00	↘	0.33		↘	0.25		↘	0.75	0.50	↘				0.33		↘	0.25		↘
伝染性紅斑	0.26	0.14	↘	0.14		↘	1.50	1.25	↘															0.33		↘	0.25		↘	
突発性発しん	0.17	0.23	↗	0.14		↘	0.50	0.75	↗	0.50	1.00	↗								0.25	↗		0.50	↗				0.50		↘
ヘルパンギーナ	0.43	0.20	↘	0.57	0.43	↘	0.75		↘	0.50	0.50									0.25	↘	0.25		↘	0.33		↘	1.00	0.75	↘
流行性耳下腺炎	0.06	0.03	↘		0.14	↗														0.25	↘	0.25		↘						
川崎病	0.03		↘																					0.33		↘				
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.14	0.14		0.33		↘				*	*		*	*		*	*								1.00	↗	*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	2.38	1.38	↘	2.00	1.00	↘				9.00	7.00	↘	2.00		↘	*	*					5.00	2.00	↘		1.00	↗	1.00		↘
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が湯沢保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から3人、報告されました。
- ・五類感染症の侵襲性肺炎球菌感染症が大仙保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から1人、横手保健所管内から3人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-44週 全国	秋田	45週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	18217	115	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	3		
	細菌性赤痢	211	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	3603	53	3
	腸チフス	33		
	パラチフス	19		
	E型肝炎	382	3	
四類	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	850		
	エキノкокクス症	10		
	黄熱			
	オウム病	6		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	5		
	キャサヌル森林病			
	Q熱	3		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	74		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎	1		
炭疽				

類型	疾患名	(人)		
		1週-44週 全国	秋田	45週 秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	128	4	
	デング熱	165		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	279		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	3		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	2		
	マラリア	45		
	野兔病			
	ライム病	13	1	
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽	2			
レジオネラ症	1879	6		
レプトスピラ症	30			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	713	1	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	208	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1837	8	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	98		
	急性脳炎	550	6	
	クリプトスポリジウム症	23		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	180	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	581	5	
	後天性免疫不全症候群	1076		
	ジアルジア症	63	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	406	5	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	29		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2670	15	1
	水痘(入院例に限る)	362	6	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	5811	14	
	播種性クリプトкокクス症	152	1	
	破傷風	110		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	67		
百日咳	8776	51	4	
風しん	1884	3		
麻しん	245			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	21			

トピック

<正しい手洗いで感染症を予防しましょう>

感染症予防の基本は手洗いです。私たちの手は、一日の中で様々な物に触れており、手を介して細菌やウイルスといった病原体を運搬してしまう可能性があります。手洗いは手に付いた病原体を取り除くことができ、ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎やインフルエンザの感染予防に有効です。しかし、手洗いは誰にでもできる反面、自己流になりやすく、洗ったつもりでも十分に洗えていない場合が多くあります。次の点に注意し、正しい方法で行いましょう。

■手洗いの正しい手順

あらかじめ爪は短く切っておきましょう。時計や指輪をはずし、次の手順で手を洗います(図)。

- ①流水でよくぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこする。
- ②手の甲を伸ばすようにこする。
- ③指先・爪の間を念入りにこする。
- ④指の間を洗う。
- ⑤親指と手のひらをねじり洗います。
- ⑥手首も忘れずに洗う。

ここまで洗ったら十分な流水で石けんを洗い流し、最後に清潔なタオルやペーパータオルで手をよく拭いて乾燥させましょう。タオルなどの共用は避けるようにしましょう。



図 手洗いの正しい手順
(厚生労働省監修「マメに正しい手の洗い方」より)

感染症の集団発生報告

手足口病による集団発生報告が1件ありました。

発生届出日 平成30年11月7日
受付保健所 大館保健所
施設名称 大湯保育園
有症者数 園児53名のうち10名
把握期間 10月5日から11月7日まで

水痘による集団発生報告が1件ありました。

発生届出日 平成30年11月9日
受付保健所 大館保健所
施設名称 ホテヤこども園
有症者数 園児178名のうち12名
把握期間 11月5日から11月9日まで

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

発生届出日 平成30年11月9日
受付保健所 秋田市保健所
施設名称 秋田聖徳会養護老人ホーム
有症者数 利用者100名のうち41名
職員47名中12名 計53名
把握期間 10月18日から11月9日まで
検査状況 2名からRSウイルス、1名からライノウイルスを検出



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	-	大館(3.00)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		